

衛生学実習

責任者名：中井 久美子(衛生学 助教)

学期：後期

対象学年：3年

授業形式等：実習

◆担当教員

中井 久美子(衛生学 専任講師)

川戸 貴行(衛生学 教授)

田中 秀樹(衛生学 准教授)

尾崎 愛美(衛生学 助教)

本橋 正史(衛生学 兼任講師)

小口 久雄(衛生学 兼任講師)

唐鎌 史行(衛生学 兼任講師)

鳥越 博貴(衛生学 兼任講師)

原田 修成(衛生学 兼任講師)

佐藤 節子(衛生学 兼任講師)

菅谷 敦人(衛生学 兼任講師)

飯田 隆文(衛生学 兼任講師)

両角 旦(衛生学 兼任講師)

北見 聡(衛生学 兼任講師)

柴田 知佳(衛生学 兼任講師)

高橋 由美(衛生学 兼任講師)

◆一般目標 (GIO)

個人の特性に応じた継続的な口腔健康管理を行う為に、歯科健康診査、疫学指標を応用して行う調査、予防処置、および歯科医療環境の管理について知る。

◆到達目標 (SBOs)

- ・集団健診における口腔診査法の基礎的な手順、姿勢、器具の使用を実施できる。
- ・健診によって得られたデータを用い、齲蝕および歯周病等の指標を集計することができる。
- ・齲蝕の予防法を理解し、正しく実施することが出来る。
- ・室内環境の管理の意義と方法を理解し、実施することが出来る。

◆評価方法

10月11日と12月20日に実施する平常試験(70%)、提出物および実習態度(30%)で評価する。

実習成果物は決められた期日までに提出するものとする。

平常試験後にフィードバックを行なう。

◆オフィス・アワー

担当教員	対応時間・場所など	メールアドレス・連絡先	備考
中井 久美子	水曜日 17:00~18:00 本館7階衛生学講座	nakai.kumiko@nihon-u.ac.jp	
川戸 貴行	水曜日 17:00~18:00 本館7階衛生学講座	kawato.takayuki@nihon-u.ac.jp	
田中 秀樹	水曜日 17:00~18:00 本館7階衛生学講座	tanaka.hideki@nihon-u.ac.jp	
尾崎 愛美	水曜日 17:00~18:00 本館7階衛生学講座	ozaki.manami@nihon-u.ac.jp	

◆授業の方法

マネキン、模型、材料、映像資料などを用いた実習パートと実習に関連する問題を解く演習パートを織り交ぜ授業を進める。

川戸 貴行：歯科医師として歯科の一般治療と予防処置ならびに学校歯科検診に従事した経験から、歯科疾患の第1次、第2次、第3次予防の実際を説明する。

田中 秀樹：歯科医師として歯科の一般治療と予防処置ならびに学校歯科検診に従事した経験から、歯科疾患の第1次、第2次、第3次予防の実際を説明する。また、労働衛生コンサルタントとしての立場から歯科診療所における環境保持の重要性を説明する。

中井久美子：歯科医師として歯科の一般治療と予防処置ならびに学校歯科検診に従事した経験から、歯科疾患の第1次、第2次、第3次予防の実際を説明する。

尾崎 愛美：歯科医師として歯科の一般治療と予防処置ならびに学校歯科検診に従事した経験から、歯科疾患の第1次、第2次、第3次予防の実際を説明する。

◆教材（教科書、参考図書、プリント等）

種別	図書名	著者名	出版社名	発行年
教科書1	衛生学・口腔衛生学実習書	川戸貴行, 前野正夫, 本橋正史 他	一世出版	2023
教科書2	口腔衛生学 2022	川戸貴行, 前野正夫, 本橋正史 他	一世出版	2022
参考書	口腔保健・予防歯科学	安井利一 他	医歯薬出版	2017
参考書	生活と健康-測定と評価法-	荒川浩久 他	学建書院	2020

◆DP・CP

コンピテンス4：歯科医学および関連領域の知識

コンピテンシー：4-7

コンピテンス5：医療の実践

コンピテンシー：5-6

対応するディプロマ・ポリシー：DP4

◆準備学習(予習・復習)

当日の学修到達目標を理解し、事前に実習書と教科書を読み予習をしておくこと。
実習および演習で得た知識をよく復習し、理解したうえで定期試験に挑むこと。

◆準備学習時間

実習時間の半分程度の時間を充てて予習と復習を行うこと。

◆全学年を通しての関連教科

第3学年前期 口腔衛生学，公衆衛生学

◆予定表

回	クラス	月日	時間	学習項目	学修到達目標	担当	コアカリキュラム
1 ～ 3		9.13	5 ～ 7	1. オリエンテー ション 1)実習内容と各課 題の習得の意義 2)実習の進行手順 ・実習場所および 内容に関しては事 前にクラスルーム にて知らせる。	・各実習課題の概要を説明できる。 ・各実習項目を習得する意義と目的 を説明できる。 ・実習中の衛生管理など，実習の方 法と注意事項を説明できる。	専任教員	B-3-2)歯科疾 患の予防と健 康管理
4- 6		9.20	5 ～ 7	2. 集団口腔診査 1)集団健診におけ る診査 (1)診査器具と態勢 (2)診査基準 (3)事後措置 (4)学校歯科健康診 断における診査方 法 2)調査研究のため の診査 (1)齲蝕の指標 ・ DMF 者率	・ 診査器具の使用法と診査態勢を説 明できる。 ・ 学校の定期歯科健康診断における 診査基準と記録方法を説明できる。 ・ 診査結果と事後措置の区分との関 係を説明できる。 ・ 学校保健における齲蝕の診査結果 から齲蝕に関する集団特性（齲蝕経 験指標による）を求める方法を説明 できる。 ・ 人，歯，歯面を単位として齲蝕の 指標を求めるための診査，記録，集 計の方法を説明できる。	兼任講師 専任教員	B-3-2)歯科疾 患の予防と健 康管理

				<ul style="list-style-type: none"> ・ DMFT 指数 ・ DMF 歯率 ・ DMFS 指数 ・ DMF 歯面率 (教 1) pp.12～23	<ul style="list-style-type: none"> ・ 齲蝕初期に視診で得られる所見について説明できる。 		
7-9		9.27	5 ～ 7	2. 集団口腔診査 2)調査研究のための診査 (3)歯周病の指標 <ul style="list-style-type: none"> ・ PMA 指数 ・ Gingival Index(GI) ・ WHO の CPI (教 1) pp.25～34	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯肉炎の評価に用いられる代表的な疫学指標である PMA 指数および GI の診査対象歯と診査基準, 集計方法を説明できる。 ・ 地域における歯周疾患の状況の評価で用いられる CPI の特徴を説明できる。 ・ CPI の診査方法, 診査基準および集計方法を理解し習得することができる。 	兼任講師 専任教員	B-3-2)歯科疾患の予防と健康管理
10-12		10.11	5 ～ 7	平常試験 1 と振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第 1～9 回の範囲および前期で学んだ「口腔衛生学」, 「公衆衛生学」, 「ベーシックカリオロジー」の中で本実習に関連する内容について, 試験により知識の修得度を確認する。 ・ 平常試験を受けることで理解が不十分と自覚された項目を, 振り返りシートに書き出す。 	専任教員	B-3-2)歯科疾患の予防と健康管理
13-15		10.18	5 ～ 7	3. 患者におけるプラークコントロール <ol style="list-style-type: none"> 1)歯口清掃習慣の診査 2)刷掃法 3)補助的歯口清掃法 4)口腔清掃の指標 (教 1) pp.23～24, pp.35～47 pp.56～80	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯口清掃習慣と清掃状態の診査方法 (OHI, OHI-S, PHP, PCR) を説明できる。 ・ 歯ブラシを用いた各種刷掃法の目的, 方法, 効果に関する特徴を説明できる。 ・ デンタルフロスを中心に補助的歯口清掃法の使用目的・方法・効果を説明できる。 	兼任講師 専任教員	B-3-2)歯科疾患の予防と健康管理
16-		10.25	5 ～	第 13-15 回で学んだ『プラークコン	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各種刷掃法の目的, 方法, 効果に関する特徴の修得度を実技形式を用 	兼任講師 専任教員	B-3-2)歯科疾患の予防と健

18			7	トロール』について、実技試験形式の演習を行う。 詳しい内容については、説明を行う。	いて確認する。		健康管理
19 - 21		11.1	5 ～ 7	第 16-18 回と同様	第 16-18 回と同様	兼任講師 専任教員	B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理
22 - 24		11.8	5 ～ 7	【遠隔】 4. 齲蝕予防法 1) 齲蝕活動性・食品の齲蝕誘発性	・齲蝕活動性試験について、各試験 (Dentocult, CAT21 テスト等) の意義と方法を説明できる。	中井 久美子 川戸 貴行 田中 秀樹	B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理
25 - 27		11.15	5 ～ 7	4. 齲蝕予防法 2) フッ化物の応用 (1) フッ化物歯面塗布法 (2) フッ化物洗口法 (教 1) pp.82~96	・フッ化物の局所応用であるトレー法の術式を習得するとともに、齲蝕予防機序を説明できる。 ・フッ化物洗口法と洗口液の作成法を説明できる。 ・フッ化物の中毒量を知り、これを取り扱うために必要な知識を列挙できる。	中井 久美子 川戸 貴行 田中 秀樹	B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理
28 - 30		11.22	5 ～ 7	第 1-27 回で学んだことについてのプレゼンテーション準備。 詳しい内容については、説明を行う。	・第 1-27 回の範囲および前期で学んだ「口腔衛生学」, 「公衆衛生学」, 「ベーシックカリオロジー」の中で本実習に関連する内容について、理解を深める。	兼任講師 専任教員	B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理
31 - 33		11.29	5 ～ 7	第 28-30 回と同様	・第 1-27 回の範囲および前期で学んだ「口腔衛生学」, 「公衆衛生学」, 「ベーシックカリオロジー」の中で本実習に関連する内容について、理解を深める。	兼任講師 専任教員	B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理
34 - 36		12.6	5 ～ 7	第 28-33 回で準備した内容についてのプレゼンテーションを行う。	・互いの発表を聞き知識を深める	兼任講師 専任教員	B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理

37 - 39		12.13	5 ~ 7	第 1-36 回で学んだことについて、 実技試験形式で演習を行う。 詳しい内容については、説明を行う。	・第 1-36 回で学んだことについて 実技形式を用いて、知識の修得度を 確認する。	兼任講師 専任教員	B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理
40 - 42		12.20	5 ~ 7	平常試験 2 と振り返り	・第 1-39 回の範囲および前期で学んだ「口腔衛生学」, 「公衆衛生学」, 「ベーシックカリオロジー」の中で本実習に関連する内容について、試験により知識の修得度を確認する。 ・平常試験を受けることで理解が不十分と自覚された項目を、振り返りシートに書き出す。	専任教員	B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理
43 - 45		1.10	5 ~ 7	5. 歯科診療室の環境管理 1) 空気成分 (1) CO ₂ など 2) 騒音・照明 3) 温熱環境 (1) 不快指数 (2) 感覚温度 4) 水質 (1) pH (2) 残留塩素 (3) COD ついて、実技試験形式で演習を行う。 詳しい内容については、説明を行う。	・歯科診療室の環境管理の基本項目(空気成分・騒音・照明・温熱・水質)の評価方法を説明できる。 ・環境要因の生体への影響について説明できる。 ・各環境要因の基準について、特に室内環境の管理の意義と方法を説明できる。	兼任講師 専任教員	B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理

担当グループ一覧表

グループ名	教員コード	教員名
兼任講師	2000014	本橋 正史
	3000091	小口 久雄
	3000093	唐鎌 史行
	3000094	佐藤 節子
	3000095	菅谷 敦人
	3000096	鳥越 博貴
	3000097	原田 修成
	3000100	飯田 隆文
	3000101	両角 旦
	3000103	北見 聡
	3000612	柴田 知佳
	3000613	高橋 由美
専任教員	1280	川戸 貴行
	1386	田中 秀樹
	2564	中井 久美子
	3097	尾崎 愛美

